

きもの豆知識

二月の梅柄と、江戸の春の色

2月の着物に梅柄が多いのは、古くから続く「季節の先取り」という日本独特の美意識に由来しています。まだ冬の寒さが残る時期に、ひと足早く春の兆しを装いに取り入れることで、周囲に“春を待つ心”をそっと伝える。これは、着物文化が大切にしてきた粋の感覚です。梅は厳しい寒さの中でもいち早く花を咲かせることから、忍耐や生命力の象徴とされ、古来より縁起の良い文様として親しまれてきました。また、梅の香りには邪気を払う力があると信じられ、厄除けの意味も込められています。こうした背景が重なり、2月の梅柄は季節感だけでなく、身にまとう人を守り励ます“お守り”のような存在でもあるのです。



一方、春の色と聞くと淡い桜色を思い浮かべがちですが、江戸の人々ももっと豊かな色の世界を楽しんでいました。たとえば「若草色」は、芽吹いた草の生命力をそのまま写し取ったような明るい緑で、春の勢いを感じさせる色です。「白緑（びやくろく）」は青みを帯びた淡い緑で、雪解けの水や春霞の静けさを思わせる、どこか凜とした気配を持っています。もちろん、桜色も春を象徴する色として愛されましたが、江戸の色名は自然の一瞬の変化を繊細に捉え、季節の空気感を色として表現する豊かさに満ちています。梅柄と春の色名を知ること、着物の季節表現はより深く味わえるようになります。単に「春らしい」ではなく、どんな意味を込め、どんな自然の情景を映し取っているのかを感じながら選ぶことで、装いはぐっと奥行きを増します。2月の梅柄は春を呼び込む願い、春の色名は自然の息吹を写す言葉。どちらも、着物文化が育んできた日本人の美意識そのものです。

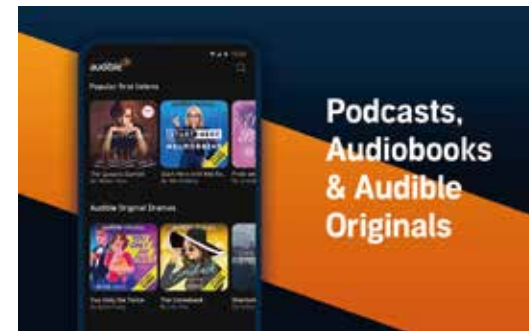
歌舞伎のススメ ～大阪松竹座の閉館～

2026年5月に大阪松竹座が閉館することが決定しました。私も1度だけですが、歌舞伎の観劇をしたことがあり、ほかの劇場とは違う優雅で魅力的な劇場だったと記憶しています。大阪松竹座は1923年に関西初の本格様式劇場として誕生し、映画館としての時代を経て1997年に演劇専門劇場として再生し、上方文化の象徴として100年以上、道頓堀の風景に寄り添ってきた存在でした。しかし、老朽化は避けられず2026年5月をもって地下の店舗を含めビル全体が閉館する予定になっています。閉館後の建物の扱いは現時点では未定とされており保存なのか再開発なのかは現時点では未定で、道頓堀の街の記憶を未来につなぐかが問われています。一方で、歌舞伎やOSK、松竹新喜劇などの興行は大阪市内の別会場で継続される予定だそうです。劇場という“箱”は失われても、上方芸能の火は消さないという松竹の姿勢がうかがえます。100年の歴史を刻んだ大阪松竹座の閉館は、単なる老朽化対応ではなく、都市と文化の関係を問い直す節目でもあります。現代のようなコスパ重視の世の中では、一見コスパの悪そうに見える文化の継承は難しいですが、100年後の日本人の感性を守るためには必要なことだと思います。道頓堀の象徴が次にどんな姿で現れるのか、静かに見守りたいと思います。



あそびの玉手箱

最近、気が付いたらどこへでもスマホを持ち歩いていて日常の様々な事柄がスマホなしでは始まらない時代になりました。体重計から照明、テレビ、お風呂などの家電品から音楽、車、銀行など生活に必要なものはすべてスマホと連携されるようになっています。最近では、読書を電子書籍などで読まれる方も多いかと思います。私は最近老眼が進んできて、スマホの画面も見にくくなってきているので、電子書籍ではなく、audible（オーディブル）という電子書籍を朗読してくれるアプリで本を読んで（聴いて）います。audible（オーディブル）のよさはウォーキングやジョギングまたはスポーツジムなどの際に、聴きながらスポーツに励むことができることです。本を読むのもスポーツをするのもなかなかできない方は、興味深い書籍の内容を聴きながらなら、継続のハードルも下がると思います。年齢が上がっていくとついつい新しいものについていくのが億劫になりますが、文明の利器をつかって少しでも快適な生活と楽しい日常を手に入れてみてください。



～レンタルギャラリー～

趣きある和の空間に作品を展示してみませんか？

趣のある和の空間で、作品を飾ってみませんか？個人の作品から、趣味の教室（お花、写真、書道、絵画、手芸など）の作品展など、文化・芸術を育む場を提供したいという思いから、竹次郎カフェを開催の日程（毎月5日間）に限り、レンタルギャラリーとしてお使い頂きます。

レンタル期間：竹次郎カフェ開催日（毎月5日間）

料 金：1500円（5日間）

作品を販売する場合は売り上げの10%別途頂きます。

※カフェ開催日は事前にお問合せ下さい。

☎ 0563-35-0039 大橋まで

着付教室 12回

1回1000円

かわちやの着付教室は、それぞれの目的やスケジュールに合わせたカリキュラムを組んでいきます。

かわちやの
ワンポイント着付教室
1,000円
半巾帯の結び方など
ピンポイントでお教えます。

お気軽にご相談ください。

お問い合わせは 大橋幸子まで

TEL 0563-35-0039

竹次郎～ TAKEJIRO CAFE ～ コラム



竹次郎カフェをはじめ今年で10年目を迎えます。その間様々な季節の和菓子を米田屋さんに手がけていただきました。イベントでお願いしたものも含めると110個以上の和菓子を作っていたことになります。次は200個目（200回目）めざして頑張りたいですね。

イベント案内

ギャラリーカフェ

竹次郎 TAKEJIRO CAFE

2月18日（木）～23日（月）

如月展（2月のコーディネイト）を開催します。